

<よくあるご質問>

今回、送付させて頂いた資料の内容に対して想定されるご質問や、通例の事業概要説明会において皆様方より寄せられることが多いご質問について、以下のとおり回答いたします。

Q1 今回の整備箇所は、どのような計画に基づき実施するのか？

- 都市計画道路を効率的・効果的に整備するため、東京都と特別区は、共に連携しながら、おおむね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を策定し、事業の推進に努めてきました。
- 現在は、平成27年度末に策定した「第四次事業化計画」に基づき事業化を進めており、本路線も、この計画の中で、令和7年度までに整備に着手すべき優先整備路線に選定されております。

Q2 今後の事業スケジュールを教えてください。

- 今後、現地調査や境界確認の準備等を進めるとともに、国から事業認可を令和2年度内に取得する予定です。
- 事業認可取得後は、引き続き、境界確認作業や橋梁及び道路の詳細設計を進め、JR横断部の橋梁工事に着手いたします。
- 事業認可取得以降、事業完了までは、10年間程度の期間を見込んでおります。

Q3 今回の資料を配布した範囲について教えてください。

- 道路が新設される中里三丁目側については、事業予定区間に面する土地が含まれる街区（「鉄道や道路に囲まれたエリア」のこと）と、交差点の改良範囲に面する方を対象に、資料を配布しました。
- 田端五丁目側については、橋梁工事の際に、道路内に作業ヤードを確保することを検討しており、想定される作業ヤードに面する街区を対象に、資料を配布しました。
- なお、今後、詳細に検討を進め施工計画が決まりましたら、改めて工事内容や方法についてお知らせいたします。

Q4 用地買収は必要となるのか？

- 今回の事業区間は、大半が公共用地として確保されています。
- 今後、公私境界測量等を進め都市計画線との位置関係を整理するとともに、道路や橋梁の詳細設計を実施いたします。
- この中で、新たに用地取得が必要となることが判りましたら、関係権利者の皆様に、個別に、ご相談させていただきます。

Q5 なぜ、中里三丁目側の道路が高くなるのか？

- 中里三丁目側は、計画道路の脇にJR山手線が近接しております。
- 橋梁の架橋にあたっては、JR山手線が安全に運行できるよう、レールから桁下まで、所定の高さを確保する必要があります。
- この結果、計画道路は、現在の地盤より2.5m程度高くなるものと想定しています。

Q6 田端五丁目側では、道路が高くなる等の影響はないのか？

- 田端五丁目側については、道路の高さが、現在よりも若干高くなる想定しています。
- 今後、道路に面する間口の高さを調査するなど、現地状況を詳細に把握するとともに道路設計を進める中で、影響や対策について検討を進めていきます。

Q7 橋の工事は、いつ位から始まるのか？

- 今後、道路や橋梁の詳細設計、関係機関との協議を進めてまいりますが、橋梁部は、おおむね令和6年度頃に着工することを想定しています。

Q8 信号機や横断歩道の位置は？

- 現時点では、信号機や横断歩道の位置、通行規制等の詳細については決まっておりません。
- 今後、交通管理者（警視庁）と協議の上、設計を進めてまいります。

Q9 測量等で、勝手に敷地に入らないで欲しい。

- 測量の受託会社には、東京都からの受託者であることが判る腕章や当所が発行する身分証明書を携帯させます。
- また、敷地内に立ち入る際には、事前にご連絡差し上げるか、お声をかけさせていただきます。
- なお、境界確認の現地立会等につきましては、事前に、案内を郵送させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

Q10 質問や意見の提出期限はいつまでか？

- 令和3年3月末を目途に、ご質問やご意見を頂ければ幸いです。
- また、頂いたご質問やご意見の内容に応じて、当所のホームページで回答を掲載することも検討いたします。（個人が特定される内容は掲載しません。）
- なお、お問い合わせの方法につきましては、同封したチラシに記載いたしましたので、そちらをご覧ください。